

旭川市私の未来プロジェクト事業

# 子どもの生活に関するアンケート 調査結果

2019 年度

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

私の未来プロジェクト事業を実施するにあたり、同事業参加者の基礎的な情報として、参加児童・生徒の生活状況及び自己肯定感の状況を把握することを目的とした。

本報告書では、主に単純集計、学年別・性別クロス集計の結果について記述する。

### (2) 方法

各校での体験実施前の「事前アンケート」の一部として無記名自記式で実施した。対象者は、体験を実施した学校の児童・生徒とした。実施年月は2019年7月～2020年2月である。

質問内容は、①性別、②文化資本と社会関係資本など、③自己肯定感<sup>1)</sup>の3つを大項目とし、①は1問、②は14問、③は8問（4件法）から構成した。

### (3) 実施結果

回収結果については、回答者の性別（ただし無回答25名）／学年の内訳を含めて表1に示した。

小学生は1,195名（昨年度：1,084名）、中学生は1,242名（昨年度：1,263名）、そして高校生237名（昨年度：484名）の合計2,674名（昨年度：2,831名）より回答を得た。

（報告書執筆）旭川大学保健福祉学部准教授 栗田 克実

表1 回答者の属性

	合計	Q1 性別			回答者計	
		男	女	無回答		
全体	2,674 100.0%	1,429 53.4%	1,245 46.6%	25	2,699	
学年	小学3年	137 100.0%	72 52.6%	65 47.4%	1	138
	小学4年	224 100.0%	94 53.0%	130 47.0%	8	232
	小学5年	737 100.0%	366 47.8%	371 52.2%	9	746
	小学6年	97 100.0%	53 47.8%	44 52.2%	0	97
	中学1年	165 100.0%	81 49.7%	84 50.3%	0	165
	中学2年	4 100.0%	2 60.0%	2 40.0%	0	4
	中学3年	1,073 100.0%	555 50.1%	518 49.9%	6	1,079
	高校1年	237 100.0%	206 65.4%	31 34.6%	1	238
学校種別	小学生	1,195 100.0%	585 49.0%	610 51.0%	18	1,213
	中学生	1,242 100.0%	638 51.4%	604 48.6%	6	1,248
	高校生（再掲）	237 100.0%	206 65.4%	31 34.6%	1	238

## 2. 調査結果

### (1) 文化資本と社会関係資本

#### 1) 本のある環境

「家には本がたくさんある」との問いに対して、全体では57.5%（前回：59.7%）が「はい（ある）」と答えた。

性別で見ると、女性で63.6%（前回：66.5%）が「はい」と答えているのに対して、男性では52.2%（前回：54.1%）にとどまっている。

学年別にみると、（回答者は4名であるが）中学2年で「はい」が100%であった一方、高校1年では43.7%まで低下した。

学校種別では、小学生62.2%（前回：64.5%）、中学生55.6%（前回：55.2%）、高校生43.7%（前回：60.9%）であり、小学生が他より「はい」と答えた割合が高かった。

表2 本のある環境

		合計	q2-01家には本がたくさんある（マンガや雑誌は除く）			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体 <small>（学年別集計の合計、以下同じ）</small>		2,687 100.0%	1,545 57.5%	933 34.7%	209 7.8%	12
性別	男性	1,422 100.0%	742 52.2%	565 39.7%	115 8.1%	7
	女性	1,243 100.0%	790 63.6%	361 29.0%	92 7.4%	2
学年	小学3年	138 100.0%	96 69.6%	32 23.2%	10 7.2%	0
	小学4年	230 100.0%	163 70.9%	52 22.6%	15 6.5%	2
	小学5年	745 100.0%	430 57.7%	247 33.2%	68 9.1%	1
	小学6年	96 100.0%	63 65.6%	28 29.2%	5 5.2%	1
	中学1年	165 100.0%	110 66.7%	50 30.3%	5 3.0%	0
	中学2年	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1,071 100.0%	575 53.7%	409 38.2%	87 8.1%	8
	高校1年	238 100.0%	104 43.7%	115 48.3%	19 8.0%	0
学校種別	小学生	1,209 100.0%	752 62.2%	359 29.7%	98 8.1%	4
	中学生	1,240 100.0%	689 55.6%	459 37.0%	92 7.4%	8
	高校生（再掲）	238 100.0%	104 43.7%	115 48.3%	19 8.0%	0

2) 個室の勉強部屋の有無

「自分一人の勉強部屋を持っている」との問いに対して、全体では72.7%（前回：73.2%）が「はい（ある）」と答えた。

性別で見ると、男性で72.4%（前回：73.3%）が「はい」と答えているが、女性73.1%（前回と同じ）とほぼ同じ値であった。

学年別にみると、小学3年の47.8%が最も低く、中学3年の85.0%が最も高い。

学校種別では、小学生の保有率は59.5%（前回：58.6%）にとどまっているものの、中学生以上では前回に続き80%を超えて、個室の保有率が高くなっている。

表3 勉強部屋（個人）の有無

		合計	q2-02自分一人の勉強部屋を持っている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,695 100.0%	1,960 72.7%	688 25.5%	47 1.7%	4
性別	男性	1,427 100.0%	1,033 72.4%	368 25.8%	26 1.8%	2
	女性	1,245 100.0%	910 73.1%	315 25.3%	20 1.6%	0
学年	小学3年	138 100.0%	66 47.8%	69 50.0%	3 2.2%	0
	小学4年	231 100.0%	143 61.9%	81 35.1%	7 3.0%	1
	小学5年	745 100.0%	450 60.4%	272 36.5%	23 3.1%	1
	小学6年	97 100.0%	62 63.9%	35 36.1%	0 0.0%	0
	中学1年	165 100.0%	121 73.3%	41 24.8%	3 1.8%	0
	中学2年	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 .0%	0
	中学3年	1,077 100.0%	915 85.0%	152 14.1%	10 .9%	2
	高校1年	238 100.0%	200 84.0%	37 15.5%	1 0.4%	0
学校種別	小学生	1,211 100.0%	721 59.5%	457 37.7%	33 2.7%	2
	中学生	1,246 100.0%	1039 83.4%	194 15.6%	13 1.0%	2
	高校生（再掲）	238 100.0%	200 84.0%	37 15.5%	1 0.4%	0

3) 家の人による勉強の促し

「家的人是に私にほとんど毎日「勉強しなさい」と言う」との問いに対して、全体では31.1%（前回：28.5%）が「はい（言う）」と答えた。

性別でみると、男性の34.3%（前回：32.0%）が「はい」と答えており、女性の27.3%（前回：24.6%）を上回った。

学年別にみると、前問と異なり、おおむね学年（年齢）の上昇とともに「はい」の割合が低下している。「はい」と答えた割合は、前回調査と同様に、小学3年の52.2%が最も高い。

学校種別でみると、小学生では「はい」が37.1%（前回：34.8%）、中学生では29.0%（前回：28.6%）に低下し、高校生では11.6%（前回：14.3%）となっている。

表4 家の人による「勉強しなさい」との促し

		合計	q2-03家的人是に私に、ほとんど毎日「勉強しなさい」と言う			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,688 100.0%	837 31.1%	1,645 61.2%	206 7.7%	11
性別	男性	1,421 100.0%	487 34.3%	842 59.3%	92 6.5%	8
	女性	1,244 100.0%	339 27.3%	794 63.8%	111 8.9%	1
学年	小学3年	138 100.0%	72 52.2%	54 39.1%	12 8.7%	0
	小学4年	229 100.0%	95 41.5%	113 49.3%	21 9.2%	3
	小学5年	745 100.0%	247 33.2%	425 57.0%	73 9.8%	1
	小学6年	97 100.0%	35 36.1%	52 53.6%	10 10.3%	0
	中学1年	163 100.0%	52 31.9%	94 57.7%	17 10.4%	2
	中学2年	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1,074 100.0%	307 28.6%	701 65.3%	66 6.1%	5
	高校1年	238 100.0%	28 11.8%	203 85.3%	7 2.9%	0
学校種別	小学生	1,209 100.0%	449 37.1%	644 53.3%	116 9.6%	4
	中学生	1,241 100.0%	360 29.0%	798 64.3%	83 6.7%	7
	高校生（再掲）	238 100.0%	28 11.8%	203 85.3%	7 2.9%	0

4) 家の人に勉強をみてもらう

「家の人に勉強を見てもらったことがある」との問いに対して、全体の76.5%(前回:77.1%)が「はい(ある)」と答えた。

性別で見ると、女性で79.8%(前回:81.4%)が「はい」と答えており、男性の73.7%(前回:73.2%)を上回った。

学年別にみると、高校1年の66.4%が最も低く、中学2年の100%が最も高い。

学校種別では、小学生全体で85.8%(前回:88.9%)、中学生で69.4%(前回:71.1%)、高校生で66.4%(前回:66.5%)が家の人に勉強をみてもらった経験を有していた。

表5 家の人に勉強をみてもらった経験

		合計	q2-04家の人に勉強を見てもらったことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,689 100.0%	2,058 76.5%	505 18.8%	126 4.7%	10
性別	男性	1,426 100.0%	1,051 73.7%	305 21.4%	70 4.9%	3
	女性	1,240 100.0%	990 79.8%	197 15.9%	53 4.3%	5
学年	小学3年	138 100.0%	126 91.3%	10 7.2%	2 1.4%	0
	小学4年	231 100.0%	207 89.6%	20 8.7%	4 1.7%	1
	小学5年	743 100.0%	631 84.9%	87 11.7%	25 3.4%	3
	小学6年	96 100.0%	73 76.0%	17 17.7%	6 6.3%	1
	中学1年	164 100.0%	136 82.9%	20 12.2%	8 4.9%	1
	中学2年	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1,075 100.0%	723 67.3%	280 26.0%	72 6.7%	4
	高校1年	238 100.0%	158 66.4%	71 29.8%	9 3.8%	0
学校種別	小学生	1,208 100.0%	1,037 85.8%	134 11.1%	37 3.1%	5
	中学生	1,243 100.0%	863 69.4%	300 24.1%	80 6.4%	5
	高校生(再掲)	238 100.0%	158 66.4%	71 29.8%	9 3.8%	0

5) 家の人に本を読んでもらった経験

「小さいころ、家の人によく本を読んでもらった」との問いに対して、全体では56.0%（前回：59.4%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、女性で58.2%（前回：63.2%）が「はい」と答えており、男性の54.1%（前回：56.0%）を上回った。

この設問は、「小さいころ」と幼少期の記憶をたずねる回顧的設問であり、前年と同様に「わからない」との回答が多く、今回も2割を超えた。

学年別にみると、中学2年の100%が最も高く、高校1年の50.8%が最も低かった。

学校種別でみると、小学生が56.7%（前回：58.5%）、中学生が56.2%（前回：58.9%）、そして高校生が50.8%（前回：62.8%）であり、大きな差は見られなかった。

表6 小さいころ家の人に本を読んでもらった経験

		合計	q2-05小さいころ、家の人によく本を読んでもらった			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,690 100.0%	1,506 56.0%	525 19.5%	659 24.5%	9
性別	男性	1,424 100.0%	770 54.1%	321 22.5%	333 23.4%	5
	女性	1,243 100.0%	724 58.2%	199 16.0%	320 25.7%	2
学年	小学3年	138 100.0%	74 53.6%	35 25.4%	29 21.0%	0
	小学4年	230 100.0%	145 63.0%	35 15.2%	50 21.7%	2
	小学5年	744 100.0%	417 56.0%	143 19.2%	184 24.7%	2
	小学6年	97 100.0%	50 51.5%	21 21.6%	26 26.8%	0
	中学1年	164 100.0%	102 62.2%	22 13.4%	40 24.4%	1
	中学2年	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1,075 100.0%	593 55.2%	209 19.4%	273 25.4%	4
	高校1年	238 100.0%	121 50.8%	60 25.2%	57 23.9%	0
学校種別	小学生	1,209 100.0%	686 56.7%	234 19.4%	289 23.9%	4
	中学生	1,243 100.0%	699 56.2%	231 18.6%	313 25.2%	5
	高校生（再掲）	238 100.0%	121 50.8%	60 25.2%	57 23.9%	0



6) 規則的な起床（時刻）

「家の人、毎日、ほとんど決まった時間に起きる」との問いに対して、全体では76.3%（前回：75.1%）が「はい（決まった時間に起きる）」と答えた。

性別で見ると、男性の77.6%（前回：74.3%）が「はい」と答えており、女性の74.9%（前回：75.9%）をやや上回った。

学年別にみると、前回と同じく高校1年の88.2%が最も高く、小学4年の67.8%が最も低く、低学年ほど「はい」と答える割合が低下した。

学校種別では、小学生全体で72.1%（前回：68.2%）、中学生で78.1%（前回：77.0%）、高校生で88.2%（前回：85.3%）であり、高い割合であった。

表7 家の人、毎日ほとんど決まった時間に起きる

		合計	q2-06家の人、毎日、ほとんど決まった時間に起きる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,686 100.0%	2,050 76.3%	364 13.6%	272 10.1%	13
性別	男性	1,422 100.0%	1,104 77.6%	186 13.1%	132 9.3%	7
	女性	1,241 100.0%	930 74.9%	174 14.0%	137 11.0%	4
学年	小学3年	137 100.0%	95 69.3%	23 16.8%	19 13.9%	1
	小学4年	230 100.0%	156 67.8%	47 20.4%	27 11.7%	2
	小学5年	745 100.0%	550 73.8%	117 15.7%	78 10.5%	1
	小学6年	92 100.0%	67 72.8%	12 13.0%	13 14.1%	5
	中学1年	164 100.0%	124 75.6%	21 12.8%	19 11.6%	1
	中学2年	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1,076 100.0%	845 78.5%	129 12.0%	102 9.5%	3
	高校1年	238 100.0%	210 88.2%	14 5.9%	14 5.9%	0
学校種別	小学生	1,204 100.0%	868 72.1%	199 16.5%	137 11.4%	9
	中学生	1,244 100.0%	972 78.1%	151 12.1%	121 9.7%	4
	高校生（再掲）	238 100.0%	210 88.2%	14 5.9%	14 5.9%	0

7) 食事を大切にしているか

「自分の家では食事を大切にしているか」との問いに対して、全体では72.1%(前回:70.4%)が「はい(食事を大切にしている)」と答えた。その一方で、「わからない」との回答が多く20.3%(前回:21.2%)であった。

性別で見ると、男性の74.0%(前回:72.4%)が「はい」と答えており、女性の69.8%(前回:68.0%)を上回った。

学年別にみると、「はい」と答えた者の割合は、中学1年の77.3%が最も高く、中学2年の50.0%が最も低い。

学校種別では、小学生全体で69.3%(前回:70.7%)、中学生で74.4%(前回:69.4%)、高校生も74.4%(前回:71.9%)であった。

表8 自分の家では食事を大切にしている

		合計	q2-07自分の家では食事を大切に考えている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,693 100.0%	1,941 72.1%	205 7.6%	547 20.3%	6
性別	男性	1,427 100.0%	1,056 74.0%	120 8.4%	251 17.6%	2
	女性	1,243 100.0%	868 69.8%	83 6.7%	292 23.5%	2
学年	小学3年	138 100.0%	95 68.8%	13 9.4%	30 21.7%	0
	小学4年	231 100.0%	170 73.6%	13 5.6%	48 20.8%	1
	小学5年	745 100.0%	503 67.5%	55 7.4%	187 25.1%	1
	小学6年	97 100.0%	71 73.2%	7 7.2%	19 19.6%	0
	中学1年	163 100.0%	126 77.3%	5 3.1%	32 19.6%	2
	中学2年	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0
	中学3年	1,077 100.0%	797 74.0%	88 8.2%	192 17.8%	2
	高校1年	238 100.0%	177 74.4%	24 10.1%	37 15.5%	0
学校種別	小学生	1,211 100.0%	839 69.3%	88 7.3%	284 23.5%	2
	中学生	1,244 100.0%	925 74.4%	93 7.5%	226 18.2%	4
	高校生(再掲)	238 100.0%	177 74.4%	24 10.1%	37 15.5%	0

8) 近所付き合い

「自分を含め、家の人には近所付き合いを大切にしている」との問いに対して、全体では53.1%（前回：52.1%）が「はい（大切にしている）」と答えた。この値は年々減少している。また、この設問では「わからない」が33.1%で昨年（33.9%）と同様に高い割合を示しており、近所付き合いに対して関心を抱いていない回答者が「わからない」と回答している可能性がある。

性別でみると、男性の53.7%（前回：52.5%）が「はい」と答えており、女性の52.4%（前回：51.5%）を上回った。

しかしながら、学年別にみると、中学2年で「はい」と答えた者が75.0%と最も高く、最も低かったのは、中学1年の46.3%であった。

学校種別でみると、「はい」と答えている割合は、小学生で57.2%（前回：57.7%）、中学生で48.0%（前回：47.6%）、高校生では58.2%（前回：51.4%）となっている。

表9 近所付き合いを大切にしている

		合計	q2-08自分を含め、家の人には近所づきあいを大切にしている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,685 100.0%	1,425 53.1%	370 13.8%	890 33.1%	14
性別	男性	1,422 100.0%	763 53.7%	215 15.1%	444 31.2%	7
	女性	1,240 100.0%	650 52.4%	151 12.2%	439 35.4%	5
学年	小学3年	138 100.0%	87 63.0%	12 8.7%	39 28.3%	0
	小学4年	231 100.0%	153 66.2%	21 9.1%	57 24.7%	1
	小学5年	742 100.0%	397 53.5%	93 12.5%	252 34.0%	4
	小学6年	96 100.0%	54 56.3%	10 10.4%	32 33.3%	1
	中学1年	162 100.0%	75 46.3%	19 11.7%	68 42.0%	3
	中学2年	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0
	中学3年	1,075 100.0%	518 48.2%	187 17.4%	370 34.4%	4
	高校1年	237 100.0%	138 58.2%	28 11.8%	71 30.0%	1
学校種別	小学生	1,207 100.0%	691 57.2%	136 11.3%	380 31.5%	6
	中学生	1,241 100.0%	596 48.0%	206 16.6%	439 35.4%	7
	高校生（再掲）	237 100.0%	138 58.2%	28 11.8%	71 30.0%	1

9) 地域住民との行事参加

「地域の人と一緒に行事に取り組んだことがある」との問いに対して、全体では57.6%（前回：59.2%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、男性の58.5%（前回：60.3%）が「はい」と答えており、女性の56.6%（前回：58.1%）を上回った。

学年別にみると、今回も高校1年の67.6%が最も高く、小学3年と中学2年が最も低く50.0%であった。

学校種別でみると、「はい」と答えている割合は、高校生では67.6%（前回：67.4%）と最も高く、中学生では57.0%（前回：55.5%）とその割合が低下し、小学生では56.2%（前回：59.9%）となっている。

表 10 地域住民との行事参加

		合計	q2-09地域の人と一緒に行事に取り組んだことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,688 100.0%	1,547 57.6%	724 26.9%	417 15.5%	11
性別	男性	1,423 100.0%	833 58.5%	394 27.7%	196 13.8%	6
	女性	1,242 100.0%	703 56.6%	324 26.1%	215 17.3%	3
学年	小学3年	136 100.0%	68 50.0%	34 25.0%	34 25.0%	2
	小学4年	231 100.0%	142 61.5%	50 21.6%	39 16.9%	1
	小学5年	745 100.0%	407 54.6%	198 26.6%	140 18.8%	1
	小学6年	97 100.0%	62 63.9%	22 22.7%	13 13.4%	0
	中学1年	163 100.0%	98 60.1%	43 26.4%	22 13.5%	2
	中学2年	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0
	中学3年	1,074 100.0%	607 56.5%	325 30.3%	142 13.2%	5
	高校1年	238 100.0%	161 67.6%	51 21.4%	26 10.9%	0
学校種別	小学生	1,209 100.0%	679 56.2%	304 25.1%	226 18.7%	4
	中学生	1,241 100.0%	707 57.0%	369 29.7%	165 13.3%	7
	高校生（再掲）	238 100.0%	161 67.6%	51 21.4%	26 10.9%	0

10) 新聞を読んだ経験の有無

「新聞を読んでいる」との問いに対して、全体では21.1%が「はい（ある）」と答え、前年より0.4%低下した（詳細は後述）。新聞を購読していない世帯の増加とあいまって、新聞を読んでいると答える者の割合は年々低下しているものと考えられる。

性別でみると、男性の23.0%（前回：20.8%）が「はい」と答えており、女性の20.6%（前回：19.1%）をほぼ同値であった。

学年別にみると、前年調査と同じく半数を超えた学年はなく、小学3年が30.9%で最も高く、高校1年が9.2%で最も低かった。

学校種別でみると、小学生では25.3%（前回：25.1%）、中学生では18.7%（前回：18.1%）、高校生では9.2%（前回：19.8%）が「新聞を読んでいる」と答えた。

表 11 新聞を読んでいる

		合計	q2-10新聞を読んでいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,690 100.0%	557 20.7%	2,004 74.5%	129 4.8%	9
性別	男性	1,425 100.0%	297 20.8%	1,058 74.2%	70 4.9%	4
	女性	1,242 100.0%	256 20.6%	928 74.7%	58 4.7%	3
学年	小学3年	136 100.0%	42 30.9%	88 64.7%	6 4.4%	2
	小学4年	231 100.0%	61 26.4%	153 66.2%	17 7.4%	1
	小学5年	745 100.0%	171 23.0%	539 72.3%	35 4.7%	1
	小学6年	97 100.0%	29 29.9%	64 66.0%	4 4.1%	0
	中学1年	163 100.0%	37 22.7%	114 69.9%	12 7.4%	2
	中学2年	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0
	中学3年	1,076 100.0%	194 18.0%	835 77.6%	47 4.4%	3
	高校1年	238 100.0%	22 9.2%	209 87.8%	7 2.9%	0
学校種別	小学生	1,209 100.0%	303 25.1%	844 69.8%	62 5.1%	4
	中学生	1,243 100.0%	232 18.7%	951 76.5%	60 4.8%	5
	高校生（再掲）	238 100.0%	22 9.2%	209 87.8%	7 2.9%	0

11) 悩みを話せる相手の有無

「悩みを話せる人がいる」との問いに対して、全体では76.8%（前回：77.1%）が「はい（いる）」と答えた。

性別で見ると、女性の80.4%（前回：82.1%）が「はい」と答えており、男性の73.8%（前回：72.6%）を上回った。

学年別にみると、高校1年で83.2%と最も高く、最も低かったのは、中学3年で73.8%であった。

学校種別にみると、小学生で78.4%（前回：77.2%）、中学生で74.0%（前回：75.1%）、高校生では83.2%（前回：81.8%）が「悩みを話せる人がいる」と答えている。

表 12 悩みを話せる人がいる

		合計	q2-11悩みを話せる人がいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,684 100.0%	2,061 76.8%	312 11.6%	311 11.6%	15
性別	男性	1,423 100.0%	1,050 73.8%	208 14.6%	165 11.6%	6
	女性	1,238 100.0%	995 80.4%	99 8.0%	144 11.6%	7
学年	小学3年	137 100.0%	103 75.2%	22 16.1%	12 8.8%	1
	小学4年	230 100.0%	185 80.4%	26 11.3%	19 8.3%	2
	小学5年	742 100.0%	581 78.3%	86 11.6%	75 10.1%	4
	小学6年	97 100.0%	77 79.4%	12 12.4%	8 8.2%	0
	中学1年	163 100.0%	122 74.8%	21 12.9%	20 12.3%	2
	中学2年	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0
	中学3年	1,073 100.0%	792 73.8%	126 11.7%	155 14.4%	6
	高校1年	238 100.0%	198 83.2%	19 8.0%	21 8.8%	0
学校種別	小学生	1,206 100.0%	946 78.4%	146 12.1%	114 9.5%	7
	中学生	1,240 100.0%	917 74.0%	147 11.9%	176 14.2%	8
	高校生（再掲）	238 100.0%	198 83.2%	19 8.0%	21 8.8%	0

12) 現時点での定住意向

「このまちにずっと住みたい」との問いに対して、全体では53.9%が「はい（住み続けたい）」と答えた。前回（46.6%）より7.3%高かった。

性別で見ると、女性の54.6%（前回：48.8%）が「はい」と答えており、男性の53.3%（前回：44.7%）を上回った。

学年別にみると、小学3年では83.7%が「はい」と答えたが、中学3年では38.9%にとどまっており、「わからない」が36.1%で各学年のなかで最も高かった。

学校種別で見ると、小学生で69.2%（前回：64.1%）であったが、中学生では40.8%（前回：37.9%）と大幅に低下し、高校生では44.9%（前回：30.0%）であった。

表 13 定住意向

		合計	q2-12このまちにずっと住みたい			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,683 100.0%	1,447 53.9%	520 19.4%	716 26.7%	16
性別	男性	1,422 100.0%	758 53.3%	298 21.0%	366 25.7%	7
	女性	1,239 100.0%	676 54.6%	216 17.4%	347 28.0%	6
学年	小学3年	135 100.0%	113 83.7%	11 8.1%	11 8.1%	3
	小学4年	230 100.0%	179 77.8%	26 11.3%	25 10.9%	2
	小学5年	744 100.0%	481 64.7%	111 14.9%	152 20.4%	2
	小学6年	97 100.0%	62 63.9%	14 14.4%	21 21.6%	0
	中学1年	161 100.0%	85 52.8%	34 21.1%	42 26.1%	4
	中学2年	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0
	中学3年	1,076 100.0%	419 38.9%	269 25.0%	388 36.1%	3
	高校1年	236 100.0%	106 44.9%	54 22.9%	76 32.2%	2
学校種別	小学生	1,206 100.0%	835 69.2%	162 13.4%	209 17.3%	7
	中学生	1,241 100.0%	506 40.8%	304 24.5%	431 34.7%	7
	高校生（再掲）	236 100.0%	106 44.9%	54 22.9%	76 32.2%	2

13) 目標とする人の存在

「あなたには「あのような人になりたい」と思う人がいる」との問いに対して、全体では68.8%（前回：65.8%）が「はい（いる）」と答えた。

性別で見ると、女性の75.2%（前回：71.2%）が「はい」と答えており、男性の63.3%（前回：60.8%）を上回った。

学年別にみると、小学6年が79.2%と最も高かった。一方、中学2年が50.0%で最も低かった。

学校種別で見ると、小学生では72.4%（前回：70.9%）であるが、中学生では67.0%（前回：61.8%）、高校生では60.3%（前回：64.8%）が「はい」と答えており、前年と同じく小学生がやや高かった。

表 14 あのような人になりたい

		合計	q2-13あなたには「あのような人になりたい」と思う人がいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2683 100.0%	1846 68.8%	549 20.5%	288 10.7%	16
性別	男性	1,421 100.0%	900 63.3%	375 26.4%	146 10.3%	8
	女性	1,239 100.0%	932 75.2%	167 13.5%	140 11.3%	6
学年	小学3年	135 100.0%	97 71.9%	31 23.0%	7 5.2%	3
	小学4年	231 100.0%	173 74.9%	43 18.6%	15 6.5%	1
	小学5年	743 100.0%	526 70.8%	153 20.6%	64 8.6%	3
	小学6年	96 100.0%	76 79.2%	14 14.6%	6 6.3%	1
	中学1年	163 100.0%	116 71.2%	33 20.2%	14 8.6%	2
	中学2年	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0
	中学3年	1,074 100.0%	713 66.4%	212 19.7%	149 13.9%	5
	高校1年	237 100.0%	143 60.3%	63 26.6%	31 13.1%	1
学校種別	小学生	1,205 100.0%	872 72.4%	241 20.0%	92 7.6%	8
	中学生	1,241 100.0%	831 67.0%	245 19.7%	165 13.3%	7
	高校生（再掲）	237 100.0%	143 60.3%	63 26.6%	31 13.1%	1



14) 将来についての会話

最後に、「家の人と将来のことについて話すことがある」とたずねた。全体では69.8%（前回：70.3%）が「はい（ある）」と答え、前年よりやや低下した。

性別でみると、女性の72.7%（前回：73.8%）が「はい」と答えており、男性の67.3%（前回：67.5%）を上回った。

学年別にみると、中学2年で前回と同じく100%と最も高かった一方、小学5年の59.7%が最も低かった。

学校種別でみると、小学生では62.4%（前回：61.6%）であるが、中学生では75.5%（前回：73.1%）と割合が高くなり、高校生では77.2%（前回：82.4%）が「はい」と答えた。

特に中学2年以上で家族と将来のことを話す割合が高くなっている。

表 15 将来について家族との会話

		合計	q2-14家の人と将来のことについて話すことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2,682 100.0%	1,871 69.8%	589 22.0%	222 8.3%	17
性別	男性	1,421 100.0%	956 67.3%	353 24.8%	112 7.9%	8
	女性	1,239 100.0%	901 72.7%	231 18.6%	107 8.6%	6
学年	小学3年	136 100.0%	89 65.4%	39 28.7%	8 5.9%	2
	小学4年	230 100.0%	155 67.4%	59 25.7%	16 7.0%	2
	小学5年	744 100.0%	444 59.7%	220 29.6%	80 10.8%	2
	小学6年	97 100.0%	65 67.0%	27 27.8%	5 5.2%	0
	中学1年	162 100.0%	99 61.1%	47 29.0%	16 9.9%	3
	中学2年	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	中学3年	1,072 100.0%	832 77.6%	163 15.2%	77 7.2%	7
	高校1年	237 100.0%	183 77.2%	34 14.3%	20 8.4%	1
学校種別	小学生	1,207 100.0%	753 62.4%	345 28.6%	109 9.0%	6
	中学生	1,238 100.0%	935 75.5%	210 17.0%	93 7.5%	10
	高校生（再掲）	237 100.0%	183 77.2%	34 14.3%	20 8.4%	1

(2) 自己肯定感

1) やると決めたことは最後までやり通す

まず、「やると決めたことは最後までやり通す」についてたずねたところ、全体では 56.4% (前回と同じ) が「ややあてはまる」と答え、最も高い割合を示した。「あてはまる (とても + やや)」(以下、「肯定的回答」) の割合は 85.1% (前回 : 83.9%) であった。

これまでの調査にならい、「とてもあてはまる」を 4 点、「ややあてはまる」を 3 点、「あまりあてはまらない」を 2 点、「まったくあてはまらない」を 1 点としてスコア化したところ (中間値 2.5)、全体では 3.12 (前回 : 3.10) となり、性別では、男性 3.11 (前回 : 3.09)、女性 3.13 (前回 : 3.10) と大きな差は見られなかったが、学年別では、小学 4 年が 3.30 で最も高く、中学 2 年の 3.00 と 0.3 点の開きがみられた。

学校種別でみると、小学生 3.16 (前回と同じ)、中学生 3.08 (前回 : 3.07)、高校生 3.11 (前回 : 3.02) となり、全体的に高い値を示しているといえる。

表 16 やると決めたことは最後までやり通す

		合計	q3-01 やると決めたことは最後までやり通す				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2,688 100.0%	772 28.7%	1,517 56.4%	343 12.8%	56 2.1%	11	3.12
性別	男性	1,424 100.0%	419 29.4%	780 54.8%	188 13.2%	37 2.6%	5	3.11
	女性	1,241 100.0%	347 28.0%	725 58.4%	150 12.1%	19 1.5%	4	3.13
学年	小学3年	137 100.0%	57 41.6%	60 43.8%	17 12.4%	3 2.2%	1	3.25
	小学4年	230 100.0%	97 42.2%	109 47.4%	20 8.7%	4 1.7%	2	3.30
	小学5年	744 100.0%	200 26.9%	434 58.3%	97 13.0%	13 1.7%	2	3.10
	小学6年	97 100.0%	32 33.0%	49 50.5%	13 13.4%	3 3.1%	0	3.13
	中学1年	163 100.0%	40 24.5%	101 62.0%	20 12.3%	2 1.2%	2	3.10
	中学2年	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	3.00
	中学3年	1,075 100.0%	279 26.0%	624 58.0%	147 13.7%	25 2.3%	4	3.08
	高校1年	238 100.0%	67 28.2%	136 57.1%	29 12.2%	6 2.5%	0	3.11
学校種別	小学生	1,208 100.0%	386 32.0%	652 54.0%	147 12.2%	23 1.9%	5	3.16
	中学生	1,242 100.0%	319 25.7%	729 58.7%	167 13.4%	27 2.2%	6	3.08
	高校生 (再掲)	238 100.0%	67 28.2%	136 57.1%	29 12.2%	6 2.5%	0	3.11

2) 私のことをわかってきている人がいる

「私のことをわかってきている人がいる」との問いでは、全体では49.5%（前回：50.1%）が「とてもあてはまる」と答え34.8%（前回と同じ）が「ややあてはまる」と答えた。これらをあわせた肯定的回答は84.3%（前回：84.9%）であった。

スコア化したところ、全体では3.31（前回と同じ）であった。性別では、男性3.24（前回：3.22）、女性3.39（前回：3.41）と女性の方が0.15高く、これも例年と同じ傾向であった。学年別では、小学3年が3.52で最も高く、中学3年が3.20で最も低かった。

学校種別でみると、小学生3.41（前回：3.39）、中学生3.21（前回：3.31）、高校生3.30（前回：3.27）となり、この設問に関しても全体的に高い値を示しているといえる。

表 17 私のことをわかってきている人がいる

		合計	q3-02私のことをわかってきている人がいる				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2,681 100.0%	1,327 49.5%	934 34.8%	343 12.8%	77 2.9%	18	3.31
性別	男性	1,421 100.0%	659 46.4%	510 35.9%	191 13.4%	61 4.3%	8	3.24
	女性	1,237 100.0%	656 53.0%	418 33.8%	148 12.0%	15 1.2%	8	3.39
学年	小学3年	136 100.0%	90 66.2%	29 21.3%	15 11.0%	2 1.5%	2	3.52
	小学4年	229 100.0%	146 63.8%	46 20.1%	27 11.8%	10 4.4%	3	3.43
	小学5年	744 100.0%	418 56.2%	221 29.7%	86 11.6%	19 2.6%	2	3.40
	小学6年	96 100.0%	55 57.3%	23 24.0%	11 11.5%	7 7.3%	1	3.31
	中学1年	163 100.0%	76 46.6%	64 39.3%	19 11.7%	4 2.5%	2	3.30
	中学2年	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	3.50
	中学3年	1,071 100.0%	430 40.1%	455 42.5%	156 14.6%	30 2.8%	8	3.20
	高校1年	238 100.0%	110 46.2%	94 39.5%	29 12.2%	5 2.1%	0	3.30
学校種別	小学生	1,205 100.0%	709 58.8%	319 26.5%	139 11.5%	38 3.2%	8	3.41
	中学生	1,238 100.0%	508 41.0%	521 42.1%	175 14.1%	34 2.7%	10	3.21
	高校生（再掲）	238 100.0%	110 46.2%	94 39.5%	29 12.2%	5 2.1%	0	3.30

3) 今の自分を気に入っている

「今の自分を気に入っている」との問いでは、全体では35.1%（前回：34.8%）が「ややあてはまる」を、31.6%（前回：34.0%）が「あまりあてはまらない」と答えた。なお、肯定的回答は53.4%であった（前回：50.4%）。

スコア化したところ、全体では2.53（前回：2.57）であり、前回とほぼ同じ値であった。性別では、男性2.65（前回：2.60）、女性2.47（前回：2.46）と、今年も男性の方が高く（0.19ポイント）、女性の値は中間値をわずかではあるが下回った。

学年別では、前回と同じく小学3年が2.97で最も高く、中学3年で2.37と最も低かった。学校種別でみると、小学生2.75（前回と同じ）、中学生2.37（前回：2.39）、高校生2.47（前回：2.54）となり、この設問については前年度と同じく全体的に低い値を示している。

表 18 今の自分を気に入っている

		合計	q3-03今の自分を気に入っている				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2,677 100.0%	489 18.3%	940 35.1%	846 31.6%	402 15.0%	22	2.57
性別	男性	1,419 100.0%	309 21.8%	507 35.7%	397 28.0%	206 14.5%	10	2.65
	女性	1,235 100.0%	175 14.2%	428 34.7%	440 35.6%	192 15.5%	10	2.47
学年	小学3年	136 100.0%	49 36.0%	49 36.0%	23 16.9%	15 11.0%	2	2.97
	小学4年	230 100.0%	64 27.8%	90 39.1%	51 22.2%	25 10.9%	2	2.84
	小学5年	743 100.0%	159 21.4%	281 37.8%	210 28.3%	93 12.5%	3	2.68
	小学6年	97 100.0%	27 27.8%	31 32.0%	25 25.8%	14 14.4%	0	2.73
	中学1年	162 100.0%	26 16.0%	64 39.5%	49 30.2%	23 14.2%	3	2.57
	中学2年	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0	2.50
	中学3年	1,067 100.0%	129 12.1%	333 31.2%	405 38.0%	200 18.7%	12	2.37
	高校1年	238 100.0%	34 14.3%	91 38.2%	82 34.5%	31 13.0%	0	2.54
学校種別	小学生	1,206 100.0%	299 24.8%	451 37.4%	309 25.6%	147 12.2%	7	2.75
	中学生	1,233 100.0%	156 12.7%	398 32.3%	455 36.9%	224 18.2%	15	2.39
	高校生（再掲）	238 100.0%	34 14.3%	91 38.2%	82 34.5%	31 13.0%	0	2.54

4) 私はやればできる人間だと思う

「私はやればできる人間だと思う」との問いでは、全体の40.7%（前回：38.9%）が「ややあてはまる」と答え、75.3%（前回：73.8%）が肯定的に回答した。

スコア化したところ、全体では3.03（前回：3.02）であった。性別では、男性3.06（前回と同じ）、女性3.00（前回：2.99）と男性の方がやや高かった。

学年別では、小学4年が3.31で最も高く、中学2年で2.50と最も低い。

学校種別でみると、小学生3.21（前回と同じ）が最も高く、中学生2.88（前回：2.86）、高校生2.98（前回：3.00）であった。

表 19 私はやればできる人間だと思う

		合計	q3-04私はやればできる人間だと思う					無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			
全体		2,670 100.0%	923 34.6%	1,087 40.7%	481 18.0%	179 6.7%	29	3.03	
性別	男性	1,418 100.0%	515 36.3%	569 40.1%	239 16.9%	95 6.7%	11	3.06	
	女性	1,229 100.0%	400 32.5%	507 41.3%	238 19.4%	84 6.8%	16	3.00	
学年	小学3年	134 100.0%	68 50.7%	42 31.3%	17 12.7%	7 5.2%	4	3.28	
	小学4年	229 100.0%	123 53.7%	68 29.7%	25 10.9%	13 5.7%	3	3.31	
	小学5年	741 100.0%	308 41.6%	296 39.9%	104 14.0%	33 4.5%	5	3.19	
	小学6年	97 100.0%	36 37.1%	42 43.3%	11 11.3%	8 8.2%	0	3.09	
	中学1年	163 100.0%	48 29.4%	73 44.8%	26 16.0%	16 9.8%	2	2.94	
	中学2年	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0	2.50	
	中学3年	1,064 100.0%	268 25.2%	456 42.9%	252 23.7%	88 8.3%	15	2.85	
	高校1年	238 100.0%	72 30.3%	107 45.0%	46 19.3%	13 5.5%	0	3.00	
学校種別	小学生	1,201 100.0%	535 44.5%	448 37.3%	157 13.1%	61 5.1%	12	3.21	
	中学生	1,231 100.0%	316 25.7%	532 43.2%	278 22.6%	105 8.5%	17	2.86	
	高校生（再掲）	238 100.0%	72 30.3%	107 45.0%	46 19.3%	13 5.5%	0	3.00	

5) 難しいことにもくじけず頑張れる

「むずかしいことにもくじけずがんばれる」との問いでは、全体の44.1%（前回：46.3%）が「ややあてはまる」と答え、肯定的回答は70.5%（前回：70.8%）であった。

スコア化したところ、全体では前回と同じ2.90であった。性別では、男性2.93（前回：2.92）、女性2.86（前回：2.89）と男性の方がやや高かった。

学年別では、小学3年が3.24と最も高く、中学2年で2.50と最も低かった。この設問についても、学年進行によりおおむね低下している傾向が認められた。

学校種別でみると、小学生3.08（前回：3.06）、中学生2.77（前回：2.79）、高校生2.85（前回：2.74）であった。

表20 難しいことにもくじけず頑張れる

		合計	q3-05むずかしいことにもくじけずがんばれる				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2,678 100.0%	706 26.4%	1,180 44.1%	622 23.2%	170 6.3%	21	2.90
性別	男性	1,419 100.0%	388 27.3%	620 43.7%	319 22.5%	92 6.5%	10	2.92
	女性	1,236 100.0%	309 25.0%	552 44.7%	299 24.2%	76 6.1%	9	2.89
学年	小学3年	137 100.0%	61 44.5%	53 38.7%	18 13.1%	5 3.6%	1	3.24
	小学4年	227 100.0%	95 41.9%	79 34.8%	47 20.7%	6 2.6%	5	3.16
	小学5年	743 100.0%	216 29.1%	355 47.8%	131 17.6%	41 5.5%	3	3.00
	小学6年	96 100.0%	30 31.3%	41 42.7%	17 17.7%	8 8.3%	1	2.97
	中学1年	163 100.0%	37 22.7%	78 47.9%	41 25.2%	7 4.3%	2	2.89
	中学2年	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0	2.50
	中学3年	1,071 100.0%	226 21.1%	460 43.0%	300 28.0%	85 7.9%	8	2.77
	高校1年	237 100.0%	41 17.3%	111 46.8%	68 28.7%	17 7.2%	1	2.74
学校種別	小学生	1,203 100.0%	402 33.4%	528 43.9%	213 17.7%	60 5.0%	10	3.06
	中学生	1,238 100.0%	263 21.2%	541 43.7%	341 27.5%	93 7.5%	10	2.79
	高校生（再掲）	237 100.0%	41 17.3%	111 46.8%	68 28.7%	17 7.2%	1	2.74

6) なんでも話せる友だちがいる

「なんでも話せる友だちがいる」との問いに対して、全体で 55.8% (前回 : 55.9%) が「とてもあてはまる」と答え、83.6% (前回 : 83.4%) が肯定的に回答した。

スコア化したところ、全体では 3.36 (前回 : 3.34) と高い値を示した。性別では、男性 3.25 (前年 : 3.31)、女性 3.43 (前年 : 3.42) と女性の方が 0.18 ポイント高い値を示した。

学年別では、中学 2 年が 3.75 で最も高く、最も低い値を示した中学 3 年でも 3.30 とあり、学年間の範囲は 0.45 点と狭かった。

学校種別でみると、小学生 3.40 (前回 : 3.39)、中学生 3.31 (前回 : 3.30)、高校生 3.42 (前回 : 3.33) で、あまり差がみられなかった。

表 21 なんでも話せる友だちがいる

		合計	q3-06なんでも話せる友だちがいる				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2,679 100.0%	1,496 55.8%	771 28.8%	289 10.8%	123 4.6%	20	3.36
性別	男性	1,417 100.0%	755 53.3%	418 29.5%	169 11.9%	75 5.3%	12	3.31
	女性	1,239 100.0%	731 59.0%	343 27.7%	119 9.6%	46 3.7%	6	3.42
学年	小学3年	136 100.0%	88 64.7%	35 25.7%	9 6.6%	4 2.9%	2	3.52
	小学4年	230 100.0%	150 65.2%	46 20.0%	18 7.8%	16 7.0%	2	3.43
	小学5年	742 100.0%	429 57.8%	195 26.3%	77 10.4%	41 5.5%	4	3.36
	小学6年	96 100.0%	63 65.6%	15 15.6%	13 13.5%	5 5.2%	1	3.42
	中学1年	162 100.0%	82 50.6%	57 35.2%	16 9.9%	7 4.3%	3	3.32
	中学2年	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	3.75
	中学3年	1,073 100.0%	546 50.9%	349 32.5%	136 12.7%	42 3.9%	6	3.30
	高校1年	236 100.0%	135 57.2%	73 30.9%	20 8.5%	8 3.4%	2	3.42
学校種別	小学生	1,204 100.0%	730 60.6%	291 24.2%	117 9.7%	66 5.5%	9	3.40
	中学生	1,239 100.0%	631 50.9%	407 32.8%	152 12.3%	49 4.0%	9	3.31
	高校生 (再掲)	236 100.0%	135 57.2%	73 30.9%	20 8.5%	8 3.4%	2	3.42

7) ありのままの自分が好き

「ありのままの自分が好きだ」との問いでは、全体では35.0%（前回：35.5%）が「ややあてはまる」と答え、27.8%（前回：29.4%）が「あまりあてはまらない」と答えた。肯定的回答は全体の59.3%（前回：58.1%）にとどまった。

スコア化したところ、全体では2.71（前回：2.69）であった。性別では、男性2.75（前回：2.70）、女性2.66（前回：2.68）と男性の方がやや高かった。

学年別では、3点を超えた学年はなく、小学4年の2.99で最も高く、中学2年で2.25と最も低かった。自己肯定感をたずねる設問の中では、学年間のばらつきが大きい設問であった。

学校種別でみると、小学生2.83（前回：2.77）、中学生2.57（前回：2.65）、高校生2.78（前回：2.61）であった。

表 22 ありのままの自分が好きだ

		合計	q3-07ありのままの自分が好きだ				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2,665 100.0%	647 24.3%	934 35.0%	740 27.8%	344 12.9%	34	2.71
性別	男性	1,416 100.0%	381 26.9%	485 34.3%	366 25.8%	184 13.0%	13	2.75
	女性	1,226 100.0%	262 21.4%	443 36.1%	365 29.8%	156 12.7%	19	2.66
学年	小学3年	135 100.0%	46 34.1%	52 38.5%	23 17.0%	14 10.4%	3	2.96
	小学4年	226 100.0%	84 37.2%	76 33.6%	45 19.9%	21 9.3%	6	2.99
	小学5年	740 100.0%	184 24.9%	276 37.3%	193 26.1%	87 11.8%	6	2.75
	小学6年	96 100.0%	32 33.3%	33 34.4%	20 20.8%	11 11.5%	1	2.90
	中学1年	163 100.0%	46 28.2%	50 30.7%	43 26.4%	24 14.7%	2	2.72
	中学2年	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0	2.25
	中学3年	1,064 100.0%	196 18.4%	349 32.8%	362 34.0%	157 14.8%	15	2.55
	高校1年	237 100.0%	58 24.5%	97 40.9%	54 22.8%	28 11.8%	1	2.78
学校種別	小学生	1,197 100.0%	346 28.9%	437 36.5%	281 23.5%	133 11.1%	16	2.83
	中学生	1,231 100.0%	243 19.7%	400 32.5%	405 32.9%	183 14.9%	17	2.57
	高校生（再掲）	237 100.0%	58 24.5%	97 40.9%	54 22.8%	28 11.8%	1	2.78



8) 自慢できることがある

最後に「他の人に自慢できることがある」との問いでは、全体では34.0%（前回：32.0%）が「とてもあてはまる」と答え、31.6%（前回：30.3%）が「とてもあてはまる」と答えた。肯定的回答は全体の65.6%（前回：60.9%）であった。

スコア化したところ、全体では2.87（前回：2.78）と前回よりやや上昇した。性別では、男性2.93（前回：2.82）、女性2.80（前回：2.74）と男性の方が0.13ポイント高かった。

学年別では、小学4年が3.07で最も高く、中学2年で2.50と最も低かった。

学校種別でみると、小学生3.01（前回：2.91）、中学生2.74（前回：2.72）、高校生2.86（前回：2.65）であり、小学生がやや高かった。

表 23 他の人に自慢できることがある

		合計	q3-08他の人に自慢できることがある				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2,681 100.0%	911 34.0%	846 31.6%	594 22.2%	330 12.3%	18	2.87
性別	男性	1,420 100.0%	520 36.6%	457 32.2%	269 18.9%	174 12.3%	9	2.93
	女性	1,238 100.0%	378 30.5%	387 31.3%	321 25.9%	152 12.3%	7	2.80
学年	小学3年	136 100.0%	55 40.4%	32 23.5%	23 16.9%	26 19.1%	2	2.85
	小学4年	229 100.0%	107 46.7%	54 23.6%	45 19.7%	23 10.0%	3	3.07
	小学5年	744 100.0%	301 40.5%	233 31.3%	135 18.1%	75 10.1%	2	3.02
	小学6年	97 100.0%	41 42.3%	32 33.0%	13 13.4%	11 11.3%	0	3.06
	中学1年	163 100.0%	53 32.5%	50 30.7%	39 23.9%	21 12.9%	2	2.83
	中学2年	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0	2.50
	中学3年	1,071 100.0%	285 26.6%	353 33.0%	283 26.4%	150 14.0%	8	2.72
	高校1年	237 100.0%	68 28.7%	91 38.4%	55 23.2%	23 9.7%	1	2.86
学校種別	小学生	1,206 100.0%	504 41.8%	351 29.1%	216 17.9%	135 11.2%	7	3.01
	中学生	1,238 100.0%	339 27.4%	404 32.6%	323 26.1%	172 13.9%	10	2.74
	高校生（再掲）	237 100.0%	68 28.7%	91 38.4%	55 23.2%	23 9.7%	1	2.86

### 3. まとめ

#### 3.1 活字離れ＝読解力について

経済協力開発機構（OECD）が2018年度に15歳を対象に実施したPISA（国際的な学習到達度に関する調査）の結果が発表された（2019年12月）。それによると、日本の高校1年の読解力は、前回の8位から15位に急落したとのことである。

前回の調査結果に続き、今回の調査でもまた文章の読解力の低下傾向が認められている。

文章を正確に理解するという事は、子どもの生活の基盤を形成していくことである。この調査を実施して5年が経過したが、子どもの活字離れの傾向はより深刻化しているように感じる。

本調査におけるq2-10「新聞を読んでいる」で「はい」と答えた割合（全体）を経年で見ると、2015年度から、28.2%→25.6%→23.7%→21.1%、そして今回は20.7%にまで低下した。そもそも新聞の購読世帯数が減少していることとあいまって、書籍以外の文字に接する機会が年々減少している。

本市においても、年少期から本を読む、活字に触れる習慣づけを図る取り組みは既に行われているが、インターネット上に不確かな情報が多く存在する中で、子どもが成長に伴って、自ら情報を精査し、その情報をもとに自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝えたりする、あるいは感性を働かせて、思いや考えをもとに、豊かにものごとを創造していく力をつけていくためには、早い年齢段階から読解力を高めていくことの重要度はよりいっそう増している。

もちろん、子どもにとって日常生活の場となる、家庭での生活習慣の改善も必要となる。スマートフォンの急速な普及によって、友人たちとの短文のやり取りが広がり、正しく読み取り理解する力が落ちたり、誤った漢字や表現を用いたりしていることを認識しないまま生活していることにもなりかねない。

#### 3.2 自己肯定感について

今回の調査においても自己肯定感を構成する設問を設定した（表24）。

表24 自己肯定感をたずねた設問<sup>1)</sup>

q3_1 やると決めたことは最後までやり通す	「とてもあてはまる」4点 「ややあてはまる」3点 「あまりあてはまらない」2点 「まったくあてはまらない」1点
q3_2 自分のことをわかってくれている人がいる	
q3_3 今の自分を気に入っている	
q3_4 自分はやればできる人間だと思う	
q3_5 むずかしいことにもくじけずがんばれる	
q3_6 なんでも話せる友だちがいる	
q3_7 ありのままの自分が好きだ	
q3_8 他の人に自慢できることがある	

佐藤 (2009) は、自己肯定感について「自分自身の存在や生を基本的に価値あるものとして評価し信頼することによって、人は意欲的、積極的に経験を積み重ね、満足感を持ち、自己に対しても他者に対しても受容的でありうる」と自己への肯定的評価であるとしている<sup>2)</sup>。

全国学力・学習状況調査や『子ども・若者白書』などの自己肯定感に関する各種の調査結果において、日本の子どもの自己肯定感は低いと指摘され、自己肯定感を高めることが課題であるといわれている。中でも、日本の子どもの自己肯定感は諸外国に比べて著しく低いため、教育等を通して自己肯定感を高めることが何よりも重要な課題であるとも考えられている (松井 2017)<sup>3)</sup>。

自己肯定感の高い子どもは精神的に安定し、何ごとにも意欲的で前向きに生きようとする傾向にあるが、低い子どもは精神的に不安定で、生活に充足感がなく、ちょっとしたことで動揺したり、傷ついたり、時には好ましくない行動にはしったりする傾向があるといわれている (横山 2010)<sup>4)</sup>。

「今の自分を気に入っている」など自己イメージをたずねた設問は、今回の調査でも学年進行とともに低下していた。

これまで多くの研究からは、年齢の上昇とともに自己肯定感は低下することが指摘されており、本市におけるこれまでの調査においても、そのことはおおむね支持されたといっていよう。しかし、澁谷 (2005) は、「子どもの自信の獲得には体験を通して充実感や達成感、自分を価値ある存在として捉えられる自尊感情や自分自身の有用感などを感じる体験が必要である」と述べており<sup>5)</sup>、この結果をもって年齢の上昇とともに自己肯定感が低下すると言いつ切るには慎重にならなければならない。

他にも、「なんでも話せる友だちがいる」は割合こそ 5%弱であるが、回答者のうち 123 名の児童生徒が「まったくあてはまらない」と答えており、とても気になる結果が存在している。

前回報告書の最後にも指摘したが、私の未来プロジェクト事業がもともとねらっている効果 (特に、自己肯定感や人工妊娠中絶割合) は、すぐに数量化してその効果を確認できるものではないが、命の大切さについて考える極めて有用な体験である。ただ、今回、集計作業を行っていてとても気になったのは、学校間で結果に大きな違いがみられる可能性があることである。

本調査は学校単位で調査を実施しているが、本事業全体の効果を測定する意味合いから、集計は全市を単位として行うこととし、学校単位でのクロス集計結果を公表は行うことはしない。しかし、児童生徒に対する教育・文化、さらには保健施策を考へるとき基礎資料として、学校単位あるいは圏域単位で本調査のデータをとらえ直すことはとても有用である。

#### 【注】

- 1) 岩永定・柏木智子ほか (2013) 「子どもの自己肯定意識の実態とその規程要因に関する研究」『熊本大学教育学部紀要』第 62 号, pp. 101-108 を参考にした。
- 2) 佐藤淑子 (2009) 『日本の子どもと自尊心』中公新書, pp. 6-24
- 3) 松井香奈 (2017) 「小学校における自己肯定感を高める教育実践の検討：実践研究論文を手がかりとして」教育学研究論集 (12), p. 47
- 4) 横山正幸 (2010) 「子どもの自尊感情と体験の関係について」『日本生活体験学習学会誌』第 10 号, pp. 53-62
- 5) 澁谷健治 (2005) 「自然体験から自信を育てる」『児童心理』第 59 巻第 10 号, pp. 74-77

#### 【参考文献】

- 栗谷初子・本間友巳 (2009) 「思春期の自己肯定感のあり方に影響を及ぼす要因についてー学校生活適応感, 生活習慣との関係を中心にー」『京都教育大学教育実践研究紀要』第 10 号, p. 193
- 文部科学省 (2017) 『新しい学習指導要領の考え方ー中央教育審議会における議論から改訂そして実施へー』 ([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/\\_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716_1.pdf))